市長室より

Next! 岡崎

次の新しい おかざき

岡崎市長
内田　康宏

防災ガイドブック

未曽有の被害をもたらした東日本大震災から4年が経過しました。これまでマグニチュード6・5以上若しくは震度5弱以上を観測した余震は100回を超え、引き続き警戒が続いています。南海トラフ巨大地震が発生した場合、被災の範囲は広域にわたり、被害は極めて甚大なものとされています。

さらに近年、全国で頻発している局地的集中豪雨や都市型水害への対策も急務となっています。こうした様々な災害に対しては、市民、事業者、行政が一体となって取り組むことが必要です。そのため、地域の防災意識の向上や防災力強化を目指し、今年度、モデル地区を4カ所程度選定し、地域住民が主体となり、地区の自然状況や特性に合わせた独自の防災計画策定に向けた取り組みを始めます。さらに市内全世帯には、災害危険箇所や防災に関する知識・情報などをまとめた「防災ガイドブック」を配布しました。災害をなくすことはできませんが、日頃の備えにより被害を最小限に抑えることはできます。災害から身を守り、誰もが安全で安心した日常生活を送ることができるよう、ご家庭や地域の防災活動にお役立ていただきたいと思います。